

日本文学と美術

ひろしま美術館が開催する特別展「川端康成 珠玉のコレクション展」に合わせて、川端康成の美意識や美しいものへの思いについて、小説や随想などに紡がれたことばや表現、背景としての教養、交友関係などを通して、文学研究、美術研究それぞれの立場から考えます。

【日 時】 平成28年 第1回：9月24日(土)10:00～12:10
第2回：10月1日(土)10:00～12:10

【会 場】 ひろしま美術館地下講堂(広島市中区基町3-2)

〔第1回〕 9月24日 (土)	10:00～11:00	川端康成の美意識 —〈虚無のありがたさ〉について—	県立広島大学生命環境学部教授 遠藤 伸治
	11:10～12:10	川端と日本の伝統美 「美しい日本の私」	ひろしま美術館 学芸部長 古谷 可由

〔第2回〕 10月1日 (土)	10:00～11:00	蘇る古典の世界	県立広島大学人間文化学部教授 西本 寮子
	11:10～12:10	川端康成と近代美術	ひろしま美術館 学芸員 農澤 美穂子

【募集人数】 80名程度

【受講料】 無料(ただし、初回は入館料1,100円が必要です。)

【対象】 どなたでも

【申込方法】 往復はがきの往信面の裏に①郵便番号、②住所、③お名前(ふりがな)、④電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所お名前(「〇〇〇〇」様)をご記入の上、平成28年9月8日(木)(消印有効)までに次のところにお送りください。

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71
県立広島大学地域連携センター「美術館講座」係
電話(082)251-9534

※受講案内は締切日以降にお届けします。なお、申込多数の場合は抽選となることがあります。
※申し込みにあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座以外の目的には使用しません。

【主催】 県立広島大学地域連携センター・公益財団法人ひろしま美術館

県立広島大学・ひろしま美術館連携公開講座

「日本文学と美術」概要

遠藤伸治 「川端康成の美意識——〈虚無のありがたさ〉について——」

川端康成は美的な作家であると同時に、生活においても美しいものを求めました。川端康成が日本近代文学という枠の中の小説という形式で達成しようとした美と、小説の外に、絵画や古美術などの中に求めた美との関係について、文学の側から考えていきます。

古谷可由 「川端康成と日本の伝統美『美しい日本の私』」

「美しい日本の私」とは、川端康成がノーベル文学賞をとった際に行った講演のタイトルです。この言葉の中から、自然や芸術の中にある美しさを愛した川端の美意識について探っていきます。

西本寮子 「蘇る古典の世界」

川端康成は古典文学作品の現代語訳に挑んだ作家のひとりです。川端がことばでつむぎだし、蘇らせた古典の世界を、原文や他の作家の現代語訳と対照することによって紹介し、古典文学に対する思いを探ります。

農澤美穂子 「川端康成と近代美術」

川端康成は、ピカソなど西洋の画家にも興味を持ち、東山魁夷といった同時代を生きた日本の画家たちとは交流もしていました。こうした川端が愛した美術について、画家との交流を踏まえながら考察します。